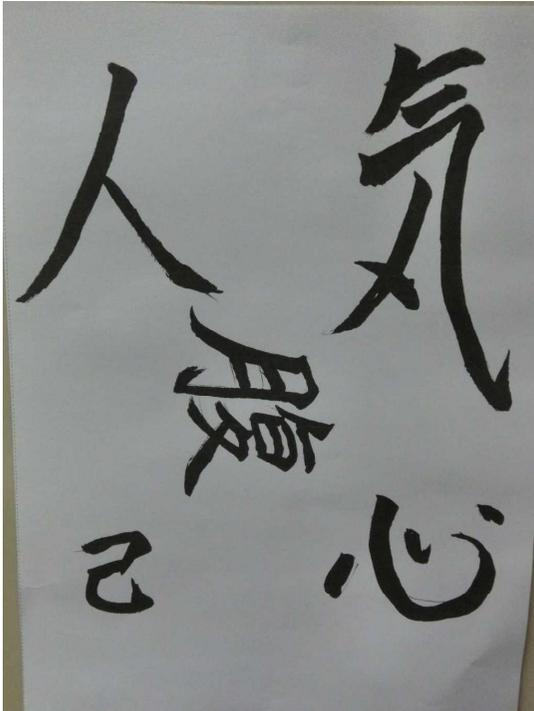


かがやけ

あさひ

校長室だより 11月



京都市にある大徳寺大仙院のご住職が言われた言葉です。左の文字はなんと読めばいいんでしょうか。【気は長く、心は丸く、腹たてず、人は大きく 己小さく】ということなのです。

この人は大きくというのは、人間としての度量は大きく広く、それでいて自己主張は小さく控えめって事ですね。なかなか難しいことではありますが、常日頃からこの辺を心がけて生活するようにしておけば、特に対人コミュニケーションの面で、困ったり、波風立てることは少なくなるかもしれません。はじめから難しいとあきら

めるのではなく、心がけや時に思い出すことだけでも良いようにも思います。

今回の運動会は、長雨が続き、一週間全くグラウンドでの練習ができなかった上、台風の影響でさらに大雨になり、予定していた21日に実施できないということになりました。子どもたちの気合を入れ、練習してきた成果を発揮できなかった悔しさ、残念さはひしひしと伝わってきました。

しかし、運動会のあいさつでもお話したように、私は、この延期で、すごい学びを得たと思うのです。それは、『忍耐』です。これは、我慢とは全く違う。我慢と忍耐の違いは、我慢は単に耐えるだけに対して、『忍耐』は、なにか大儀を成し遂げるために



するもの。目的があるためにするものです。つまり、運動会で日頃の練習の成果を出し切り、一人ひとりが主人公になるという目標があるのです。そのためにじっと我慢してエネルギーを蓄え、それを一気に出し切ります。この『忍耐』は、人生においても、とても大事なことで、人生は、



自分の思い通りにならないことが多く、それを目標実現のために我慢して耐えて乗り越えていくことが必要なのです。今回の運動会延期の体験はまさにそのもの。子どもたちにとって、決して無駄ではなく、貴重な体験をさせてもらったんだと思います。忍耐は人生を豊かにしますから。

運動会延期の中でも、様々な行事に向けて活動しています。

運動会の練習に並行して校内音楽会の練習もスタートしています。



さらに2年生は、旭だんじり祭りをひかえ、幼稚園の園児も招待しながら楽しむために、各クラスでだんじり制作におわれていますよ。かっこいい各クラス自慢のだんじりを作っています。彫り物を作ったり、提灯をぶら下げたり、旗をつけたり、後ろでこもなかなかすごいでしょ。